



2021年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ツガミ 上場取引所 東
 コード番号 6101 URL <https://www.tsugami.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 西嶋 尚生
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 山口 智弘 TEL 03-3808-1711
 定時株主総会開催予定日 2021年6月16日 配当支払開始予定日 2021年5月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	61,662	25.0	9,533	109.5	9,459	122.1	6,636	141.6	4,917	145.7	10,902	—
2020年3月期	49,310	△28.0	4,549	△55.5	4,259	△59.0	2,747	△65.3	2,001	△67.7	697	△88.1

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	95.21	93.08	13.9	13.4	15.5
2020年3月期	38.60	37.75	6.1	6.5	9.2

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	79,278	46,836	38,229	48.2(59.1)	751.14
2020年3月期	61,860	39,073	32,480	52.5(63.2)	628.14

(参考) ()内は、資本合計(親会社の所有者に帰属する持分+非支配持分)の比率であります。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	6,784	1,432	△2,781	17,207
2020年3月期	7,994	△3,246	△4,261	10,921

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	1,243	62.2	3.8
2021年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00	1,334	27.3	3.8
2022年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		25.9	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	62.5	7,000	133.7	3,500	173.5	68.79
通期	76,000	23.3	11,000	15.4	5,500	11.8	108.10

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	55,000,000株	2020年3月期	55,000,000株
2021年3月期	4,105,615株	2020年3月期	3,291,482株
2021年3月期	51,655,114株	2020年3月期	51,860,235株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,367	△21.5	109	△72.6	1,568	14.7	3,810	374.2
2020年3月期	25,937	△32.7	401	△79.0	1,367	△60.8	803	△74.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	73.78	72.13
2020年3月期	15.50	15.16

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	35,275	55.2	20,104	59.3			382.78	
2020年3月期	31,755	59.3	19,424				364.21	

(参考) 自己資本 2021年3月期 19,481百万円 2020年3月期 18,832百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況②今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結財政状態計算書	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算書)	7
(3) 連結持分変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. 補足説明資料	16
(1) 海外売上収益	16
(2) 連結販売実績	16
(3) 役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当期における当社グループを取り巻く環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等から、年度前半は国内・海外市場共に調整局面が続きましたが、年央以降、中国を中心とした需要回復を受けて、受注環境は回復基調に転じてきております。

このような中、当社グループは自動車部品関連、IT関連等、幅広い業種向けの拡販に注力した結果、売上収益は61,662百万円(前期比25.0%増)、営業利益は9,533百万円(同109.5%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は4,917百万円(同145.7%増)と前期比増収増益となりました。

国内売上収益は6,129百万円(前期比37.4%減)、海外売上収益は55,532百万円(同40.5%増)となり、海外売上収益比率は前期比10.0%上昇し、90.1%となりました。

また、機種別の売上収益では、主力の自動旋盤は51,810百万円(前期比33.2%増)、研削盤は2,489百万円(同28.8%減)、マシニングセンタ・転造盤・専用機4,096百万円(同21.5%増)となりました。

セグメントごとの収益は次のとおりであります。

①日本につきましては、売上収益は20,377百万円(前期比22.6%減)、セグメント利益は273百万円(前期比50.6%減)となりました。

②中国につきましては、売上収益は49,184百万円(前期比60.9%増)、セグメント利益は8,585百万円(前期比163.9%増)となりました。

③インドにつきましては、売上収益は1,797百万円(前期比28.8%減)、セグメント利益は39百万円(前期比74.3%減)となりました。

④韓国につきましては、売上収益は1,593百万円(前期比36.3%減)、セグメント利益は89百万円(前期比72.8%減)となりました。

⑤その他につきましては、売上収益は420百万円(前期比42.0%減)、セグメント損失は48百万円(前期はセグメント利益28百万円)となりました。

セグメント利益は、売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

② 今後の見通し

2022年3月期の通期業績予想につきましては、国内外の市場動向及び当社受注状況を踏まえ、下記のとおりいたしました。

- ・ 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	単位：百万円	
	第2四半期(累計)	通 期
売 上 収 益	43,000	76,000
営 業 利 益	7,000	11,000
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	3,500	5,500
基 本 的 1 株 当 たり 当 期 利 益	68.79円	108.10円

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債および資本の状況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて17,417百万円増加し、79,278百万円となりました。

これは主に、現金及び現金同等物が6,285百万円、営業債権及びその他の債権が8,169百万円、棚卸資産が2,431百万円、有形固定資産が2,160百万円増加した一方、その他の金融資産が1,816百万円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて9,654百万円増加し32,441百万円となりました。

これは主に、営業債務及びその他の債務が5,317百万円、借入金が712百万円、未払法人所得税が1,021百万円、契約負債が2,140百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて7,762百万円増加し、46,836百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が5,577百万円、その他の資本の構成要素が1,521百万円増加したことによるものです。その他の資本の構成要素の増加の内訳は、在外営業活動体の換算差額が2,014百万円増加、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産が492百万円減少であります。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比4.3%減少し、48.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比6,285百万円増加し、17,207百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、6,784百万円の増加(前連結会計年度は7,994百万円の増加)となりました。

これは主に、税引前利益9,459百万円、営業債務及びその他の債務の増加4,366百万円、契約負債の増加1,964百万円、減価償却費及び償却費1,505百万円により資金が増加した一方、営業債権及びその他の債権の増加7,046百万円、法人所得税の支払2,273百万円、棚卸資産の増加1,390百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,432百万円の増加(前連結会計年度は3,246百万円の減少)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却3,888百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得2,311百万円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は2,781百万円の減少(前連結会計年度は4,261百万円の減少)となりました。

これは主に、自己株式の取得1,497百万円、配当金の支払1,242百万円により資金が減少したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは今後とも、時代の変化に対応した開発投資を積極的に行い、競争力の一層の強化、経営の効率化に引き続き取り組むことにより、企業グループの総合力を高め、株主の皆様へ利益還元を図ることが基本と考えております。従いまして、企業体質の強化を図るとともに、安定配当を確保すべくグループをあげて努力してまいります。

また、株主還元策の一環としての自己株式取得につきましては、機動的な資本政策の遂行を可能とすること等を目的として、その必要性、財務状況、株価動向等を総合的に判断いたしまして適切に対応してまいります。

2021年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金12円、期末配当金14円の年間26円(2円増配)とさせていただきます。

また、2022年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金14円、期末配当金14円の年間28円とさせていただきます予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年3月期より国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	10,921	17,207
営業債権及びその他の債権	12,258	20,428
その他の金融資産	30	30
棚卸資産	18,343	20,774
その他の流動資産	1,397	1,582
流動資産合計	42,952	60,023
非流動資産		
有形固定資産	9,648	11,808
使用権資産	1,222	1,302
無形資産	1,289	1,116
退職給付に係る資産	82	91
その他の金融資産	6,236	4,420
繰延税金資産	209	253
その他の非流動資産	218	261
非流動資産合計	18,908	19,254
資産合計	61,860	79,278

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	9,480	14,797
借入金	8,867	9,579
その他の金融負債	175	210
未払法人所得税等	310	1,332
引当金	402	384
契約負債	1,021	3,161
その他の流動負債	609	737
流動負債合計	20,866	30,204
非流動負債		
その他の金融負債	140	123
退職給付に係る負債	915	893
繰延税金負債	635	887
その他の非流動負債	229	333
非流動負債合計	1,920	2,237
負債合計	22,787	32,441
資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	3,306	3,332
自己株式	△2,994	△4,371
その他の資本の構成要素	1,038	2,560
利益剰余金	18,784	24,362
親会社の所有者に帰属する持分合計	32,480	38,229
非支配持分	6,593	8,607
資本合計	39,073	46,836
負債及び資本合計	61,860	79,278

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	49,310	61,662
売上原価	△36,354	△44,457
売上総利益	12,956	17,204
販売費及び一般管理費	△8,369	△8,297
その他の収益	308	670
その他の費用	△345	△44
営業利益	4,549	9,533
金融収益	310	339
金融費用	△601	△413
税引前利益	4,259	9,459
法人所得税費用	△1,511	△2,822
当期利益	2,747	6,636
当期利益の帰属		
親会社の所有者	2,001	4,917
非支配持分	745	1,718
当期利益	2,747	6,636
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	38.60	95.21
希薄化後1株当たり当期利益(円)	37.75	93.08

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期利益	2,747	6,636
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△170	1,459
確定給付制度の再測定	△3	11
純損益に振り替えられることのない項目合計	△174	1,471
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,874	2,795
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,874	2,795
その他の包括利益合計	△2,049	4,266
当期包括利益	697	10,902
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	460	8,405
非支配持分	236	2,497
当期包括利益	697	10,902

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2019年4月1日時点の残高	12,345	3,214	△2,943	△169	2,745
当期利益					
その他の包括利益				△1,366	△170
当期包括利益合計	—	—	—	△1,366	△170
自己株式の取得			△123		
自己株式の処分		△34	72		
配当金					
株式報酬取引による増減		129			
利益剰余金への振替					△0
非支配持分との資本取引		△3		△0	
所有者との取引額合計	—	92	△51	△0	△0
2020年3月31日時点の残高	12,345	3,306	△2,994	△1,535	2,574

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計			
	確定給付制度の再測定	合計					
2019年4月1日時点の残高	—	2,576	18,052	33,244	6,827	40,072	
当期利益			2,001	2,001	745	2,747	
その他の包括利益	△3	△1,540		△1,540	△508	△2,049	
当期包括利益合計	△3	△1,540	2,001	460	236	697	
自己株式の取得				△123		△123	
自己株式の処分			△21	16		16	
配当金			△1,244	△1,244	△463	△1,707	
株式報酬取引による増減				129		129	
利益剰余金への振替	3	3	△3	—		—	
非支配持分との資本取引		△0		△3	△7	△11	
所有者との取引額合計	3	2	△1,269	△1,225	△471	△1,696	
2020年3月31日時点の残高	—	1,038	18,784	32,480	6,593	39,073	

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	12,345	3,306	△2,994	△1,535	2,574
当期利益					
その他の包括利益				2,016	1,459
当期包括利益合計	—	—	—	2,016	1,459
自己株式の取得			△1,495		
自己株式の処分		△57	119		
配当金					
株式報酬取引による増減		88			
利益剰余金への振替					△1,952
非支配持分との資本取引		△5		△1	
所有者との取引額合計	—	25	△1,376	△1	△1,952
2021年3月31日時点の残高	12,345	3,332	△4,371	478	2,081

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計			
	確定給付制度の再測定	合計					
2020年4月1日時点の残高	—	1,038	18,784	32,480	6,593	39,073	
当期利益			4,917	4,917	1,718	6,636	
その他の包括利益	11	3,487		3,487	779	4,266	
当期包括利益合計	11	3,487	4,917	8,405	2,497	10,902	
自己株式の取得				△1,495		△1,495	
自己株式の処分			△61	0		0	
配当金			△1,242	△1,242	△454	△1,697	
株式報酬取引による増減				88		88	
利益剰余金への振替	△11	△1,963	1,963	—		—	
非支配持分との資本取引		△1		△7	△28	△35	
所有者との取引額合計	△11	△1,965	659	△2,656	△483	△3,140	
2021年3月31日時点の残高	—	2,560	24,362	38,229	8,607	46,836	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	4,259	9,459
減価償却費及び償却費	1,242	1,505
金融収益	△310	△339
金融費用	81	103
固定資産除却損	5	10
固定資産売却損益(△は益)	△5	△1
瑕疵担保責任等履行損失	307	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,058	△1,390
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	4,470	△7,046
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,211	4,366
契約負債の増減額(△は減少)	△521	1,964
退職給付に係る資産及び負債の増減額	19	△19
引当金の増減額(△は減少)	△171	△43
その他	47	△432
小計	9,269	8,135
利息及び配当金の受取額	291	348
利息の支払額	△81	△103
補助金の受取額	166	392
助成金の受取額	—	121
瑕疵担保責任履行に伴う支出額	△307	—
法人所得税の支払額	△1,598	△2,273
法人所得税の還付額	254	163
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,994	6,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
有形固定資産の取得による支出	△2,209	△2,311
有形固定資産の売却による収入	6	2
有形固定資産の除却による支出	△0	△7
無形資産の取得による支出	△798	△228
使用権資産の取得による支出	△183	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	1	3,888
補助金の受取額	—	81
その他	△60	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,246	1,432

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△2,254	712
自己株式の売却による収入	16	0
自己株式の取得による支出	△123	△1,497
配当金の支払額	△1,244	△1,242
非支配持分への配当金の支払額	△463	△454
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△11	△35
リース負債の返済による支出	△180	△263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,261	△2,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△677	849
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190	6,285
現金及び現金同等物の期首残高	11,112	10,921
現金及び現金同等物の期末残高	10,921	17,207

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、国内外で工作機械の製造及び販売を行っております。製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「インド」、「韓国」、および「その他」の各グループ会社の所在地を報告セグメントとしております。

(2) セグメント収益及び業績

セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	中国	インド	韓国	その他	計		
売上収益								
外部収益	20,899	22,888	2,491	2,446	584	49,310	—	49,310
セグメント間収益	5,415	7,689	34	56	139	13,335	△13,335	—
合計	26,315	30,577	2,526	2,502	724	62,646	△13,335	49,310
セグメント利益	552	3,253	155	327	28	4,317	269	4,586
その他の収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△36
営業利益	—	—	—	—	—	—	—	4,549
金融収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△290
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	4,259
その他の項目								
減価償却費及び償却費	386	758	41	69	0	1,256	△14	1,242
セグメント資産	22,932	29,234	3,725	1,611	744	58,249	3,611	61,860
資本的支出	1,068	2,057	365	86	1	3,579	—	3,579

(注) 1. セグメント利益は売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算定しております。

2. セグメント利益の調整額269百万円は、未実現利益の調整等であります。

3. セグメント資産の調整額3,611百万円には、全社資産9,331百万円、セグメント間の連結調整の影響額△5,720百万円が含まれております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	中国	インド	韓国	その他	計		
売上収益								
外部収益	14,798	43,172	1,797	1,558	334	61,662	—	61,662
セグメント間収益	5,578	6,012	—	34	85	11,711	△11,711	—
合計	20,377	49,184	1,797	1,593	420	73,373	△11,711	61,662
セグメント利益	273	8,585	39	89	△48	8,938	△31	8,907
その他の収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	625
営業利益	—	—	—	—	—	—	—	9,533
金融収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△74
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	9,459
その他の項目								
減価償却費及び償却費	670	758	36	49	0	1,516	△11	1,505
セグメント資産	21,929	45,303	4,389	1,114	432	73,168	6,109	79,278
資本的支出	465	1,982	281	37	0	2,766	—	2,766

- (注) 1. セグメント利益は売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算定しております。
 2. セグメント利益の調整額△31百万円は、未実現利益の調整等であります。
 3. セグメント資産の調整額6,109百万円には、全社資産11,788百万円、セグメント間の連結調整の影響額△5,678百万円が含まれております。

(3) 地域別に関する情報

非流動資産の地域別内訳は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
日本	4,030	3,773
中国	7,288	9,354
インド	944	1,238
韓国	110	117
その他	5	4
合計	12,379	14,489

- (注) 非流動資産は、資産の所在地によっており、金融商品、繰延税金資産及び退職給付に係る資産を含んでおりません。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	2,001	4,917
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	2,001	4,917
加重平均普通株式数(千株)	51,860	51,655
基本的1株当たり当期利益(円)	38.60	95.21

(2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	2,001	4,917
当期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	2,001	4,917
加重平均普通株式数(千株)	51,860	51,655
普通株式増加数		
新株予約権(千株)	1,159	1,178
希薄化後の加重平均普通株式数(千株)	53,019	52,833
希薄化後1株当たり当期利益(円)	37.75	93.08

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足説明資料

(1) 海外売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
中国	23,005	42,393
アジア	9,084	8,323
米国	4,607	3,357
欧州	2,821	1,459
海外売上収益	39,518	55,532
売上収益	49,310	61,662
海外売上収益比率 (%)	80.1	90.1

(注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 連結販売実績

主要な製品ラインによる収益の分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	日本	中国	インド	韓国	その他	合計
主要な製品ライン						
自動旋盤	14,544	19,236	2,265	2,389	448	38,885
研削盤	2,292	1,110	88	3	—	3,495
マシニングセンタ・転造盤・専用機	1,500	1,871	—	—	—	3,371
その他	2,561	669	137	52	136	3,558
合計	20,899	22,888	2,491	2,446	584	49,310

(注) 主要な製品ラインのその他には、部品、サービス等が含まれております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	日本	中国	インド	韓国	その他	合計
主要な製品ライン						
自動旋盤	10,876	37,468	1,738	1,500	225	51,810
研削盤	901	1,570	—	5	10	2,489
マシニングセンタ・転造盤・専用機	914	3,156	10	5	8	4,096
その他	2,104	976	47	47	89	3,265
合計	14,798	43,172	1,797	1,558	334	61,662

(注) 主要な製品ラインのその他には、部品、サービス等が含まれております。

(3) 役員の異動(2021年6月16日予定)

①代表取締役の異動

2021年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり代表取締役の異動について内定いたしました。

・新任代表取締役

室本 一郎(むろもと いちろう)

新役職 代表取締役 CFO

2021年6月16日開催予定の第118期定時株主総会および総会終了後の取締役会にて正式決定し
就任する予定です。

・退任代表取締役

堆朱 誠治(ついしゅ せいじ)

旧役職 代表取締役

代表取締役および取締役を任期満了により退任いたします。

詳細につきましては、本日(2021年5月13日)別途公表いたしました「代表取締役の異動に関するお知らせ」
をご覧ください。

②その他の役員の異動

・退任予定取締役(監査等委員である取締役を除く。)

任期満了により退任いたします。

取締役 邊 宰賢(引き続き TSUGAMI KOREA CO., LTD. 社長)

取締役 カメスワラン バラスブラマニアン

(引き続き TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PRIVATE LTD. 取締役議長)

・新任取締役(監査等委員)候補

取締役(監査等委員) 高橋 智子(現 当社CHO 人事部長兼秘書室長)

・退任予定取締役(監査等委員)

取締役(監査等委員) 米山 賢司(当社CLO 就任予定。)

③異動後の取締役会の構成

取締役会において機動的に意思決定が行えるよう取締役(監査等委員である取締役を除く。)を2名減員して
5名(うち社外取締役2名)とし、監査等委員である取締役が5名(うち独立社外取締役4名)、合計10名
(うち社外取締役6名)で構成する予定です。

以 上